

お知らせ
 新年1月の岩沢通信は**休刊**とさせていただきます。

岩 沢 通 信

第73号
 2018年5月25日創刊
 発行 岩沢アチコタネーゼ
 岩沢地域振興協議会・岩沢分館
 編集 石首根 徹(地域づくり支援員)

コミュニティバス入れ替え



地域移動手段の確保を継続
 平成16年10月に三興・岩山地区の路線バス廃止に伴う代替措置として、小千谷市内で初めて配車された岩沢地域のコミュニティバスがこのほど入れ替えとなった。
 12月9日小千谷市のにぎわい交流課にて、長谷川振興会会長へ新旧車両の引き渡しが行われ、岩沢住民センターへ納車された。新車両はこれまでと同じく運転手を含めて10人乗りだが、ロングボディーとなり荷室が広くなった。また、最新の運転支援装置も装備され、なにより嬉しいのは、手すりも各所にあり、後部座席の乗り降りに電動ステップが装着されたことから、今までデイトホームのお世話係が降りる際に踏み台を出していたが、これが不要なくなった。
 翌10日には同じく真人地区に納車になった車両と2台並べてお祝いをを行い、運行の安全を祈願した。
 なお、この車両は宝くじの地域貢献事業として小千谷市が申請し採択されたものである。

入れ替えとなった。12月9日小千谷市のにぎわい交流課にて、長谷川振興会会長へ新旧車両の引き渡しが行われ、岩沢住民センターへ納車された。新車両はこれまでと同じく運転手を含めて10人乗りだが、ロングボディーとなり荷室が広くなった。また、最新の運転支援装置も装備され、なにより嬉しいのは、手すりも各所にあり、後部座席の乗り降りに電動ステップが装着されたことから、今までデイトホームのお世話係が降りる際に踏み台を出していたが、これが不要なくなった。



たが、これが不要なくなった。翌10日には同じく真人地区に納車になった車両と2台並べてお祝いをを行い、運行の安全を祈願した。なお、この車両は宝くじの地域貢献事業として小千谷市が申請し採択されたものである。



れたものであり、後部ドアには宝くじのキャラクターもラッピングされている。



今シーズンも万全の体制で臨む
 12月5日住民センターにてアチコタネーゼ除雪隊打ち合わせが開催された。冒頭除雪隊の中村隊長からは「今シーズンも我々の支援を待っている人が沢山います。事故やケガの無いように作業しましょう」と挨拶。
 会議では現在依頼の来ている家の確認と作業人員の連絡方法、作業員への報酬の支払い額などの説明と質疑応答が出た。なお、今シーズンは雪おろしの依頼が約20件、作業人数は総勢約16人で臨むことになる。
 会では引き続き、一緒に除雪作業を行ってくれる人を募集している。問い合わせは各会員へ。

12月5日住民センターにてアチコタネーゼ除雪隊打ち合わせが開催された。冒頭除雪隊の中村隊長からは「今シーズンも我々の支援を待っている人が沢山います。事故やケガの無いように作業しましょう」と挨拶。会議では現在依頼の来ている家の確認と作業人員の連絡方法、作業員への報酬の支払い額などの説明と質疑応答が出た。なお、今シーズンは雪おろしの依頼が約20件、作業人数は総勢約16人で臨むことになる。会では引き続き、一緒に除雪作業を行ってくれる人を募集している。問い合わせは各会員へ。



除雪は行政と市民が協力して
 昨年とほぼ同じ体制で作業
 11月15日(金)真人のふれあい交流館にて今シーズンの地区別道路除雪説明会が開催された。会には岩沢、真人、川井、山辺地区として上坪野、細島、塩殿、卯ノ木の各町内会長と振興会長、地元市議が参加。各路線の除雪を担当する業者も参加した。
 小千谷市からは令和6年度の道路除雪計画実施要綱について出動の基準や路線の区分による除雪内容、消雪パイプ、流雪溝の管理運営など詳しく説明があった。
 質疑応答では岩沢地区町内会長協議会の佐藤会長から、

11月15日(金)真人のふれあい交流館にて今シーズンの地区別道路除雪説明会が開催された。会には岩沢、真人、川井、山辺地区として上坪野、細島、塩殿、卯ノ木の各町内会長と振興会長、地元市議が参加。各路線の除雪を担当する業者も参加した。小千谷市からは令和6年度の道路除雪計画実施要綱について出動の基準や路線の区分による除雪内容、消雪パイプ、流雪溝の管理運営など詳しく説明があった。質疑応答では岩沢地区町内会長協議会の佐藤会長から、



消パイ施設のある道路も雪が溜まる場所は様子を見ながら機械除雪をしてほしいや道路わきにゴミが散乱している除雪にも障害が出ている、この辺も市で何とかしてほしいなどの要望が出された。

消パイ施設のある道路も雪が溜まる場所は様子を見ながら機械除雪をしてほしいや道路わきにゴミが散乱している除雪にも障害が出ている、この辺も市で何とかしてほしいなどの要望が出された。

お知らせ
 岩沢住民センターは12月28日～1月5日まで定期休みと合わせて年末年始の休館となります。ご利用の皆さまにはご不便をお掛けしますが、ご理解いただきたくお願いいたします。



乗合タクシー一部変更
 経費節減と利用者還元
 11月15日真人ふれあい交流館での除雪説明会終了後、引き続き池の平線の乗合タクシーの運行について関係町内会長に対する協議会が開催された。来年度に於いて運行等の大きな変更はないが、日中に加えて朝の1便も

これは、朝の1便をこれまで予約なしで走らせていたが、カラ便で走ることも多く、それでもタクシー会社には同じ運行料を払うことから、この経費を節約する狙いがある。正式には小千谷市地域公共交通協議会の話し合いを経てからなるが、来年度4月1日から実施したいとのこと。また、ある程度利用者は把握しているため、今後直接話に行き、それによるメリットも説明したいと担当は語る。



小千谷市にぎわい交流課の担当から示された。

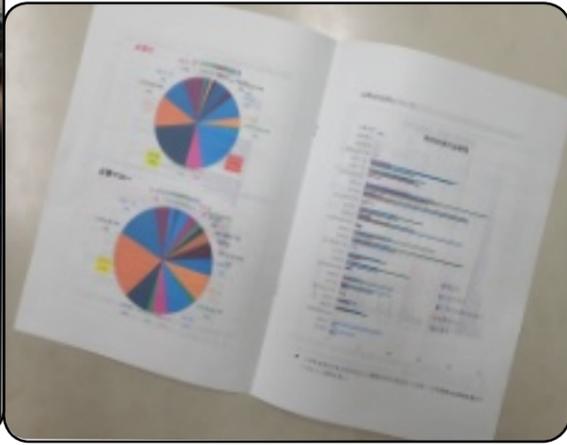
アンケート結果分析・報告会議

まずは振興会役員会にて検討

夏から秋にかけて中学生以上の全住民を対象として実施したアンケートの結果の概要版がまとまり、これについて話し合う振興会の合同役員会が12月7日に開催された。

長谷川振興会長からは「数年前に同じようなアンケートを実施したが、今回はより具体的に深い内容でアンケートを行った。ぜひこれからの地域運営に生かしていきたい」と挨拶。その後岩沢担当の地域づくり支援員からアンケートは約600枚配布し、420枚の回収があり、回答率は70パーセントなど集計結果分析内容が報告された。参加者からは、今後自由記入欄

のコメントの処理をどうするか、説明文をもっと細かくしてほしいなどの意見が出された。振興会では今後完成版を作成し、全戸配布を行う予定である。



地域住民胸を撫でおろす

歩道規制も解除

先月号でお知らせした旧渡辺工務店の解体が終了し、地域住民の不安が解消された。これに伴い、



今までの建物前の歩道の通行規制が行われていた



が、これも解除となり、歩道の反対側に渡る必要も無くなった。解体工事は行政代執行という形で着手し、落下や飛散防止のためまず建物の足場組から始まった。その後足場にネットを張り、作業員は建物の中に残っている残骸物を手作業で分別しながら搬出。その後大型重機と作業員の連携で窓や躯体の解体を行い、綺麗な更地となった。

住民センター避難訓練

毎年2回の実施が求められている住民センターでの定期避難訓練が11月20日行われた。

午前10時頃住民センターの火災報知器がけたたましく鳴ると長谷川事務員は出火場所を確認。デイホームの食事準備の途中で調理室



の後地域づくり支援員と二名で消火器で初期消火を行うがこれに失敗し、一階の非常口から避難誘導。地域づくり支援員は、一階から二階の各部屋を回り、火災の告知と逃げ遅れた人がいないかを確認して、二階の非常階段から脱出した。避難後は屋外で長谷川事務員から、訓練についての説明があった。

のガスコンロから出火ということを確認し、デイホーム参加者に避難の準備を伝える。その後地域づくり支援員と二名で消火器で初期消火を行うがこれに失敗し、一階の非常口から避難誘導。地域づくり支援員は、一階から二階の各部屋を回り、火災の告知と逃げ遅れた人がいないかを確認して、二階の非常階段から脱出した。避難後は屋外で長谷川事務員から、訓練についての説明があった。

令和7年(2025年)カレンダー交換会

ご家庭で使用しない2025年(令和7年)のカレンダーを集めて、必要な方に差し上げる「カレンダー交換会」を来年1月11日(土)12日(日)の2日間開催します。今回の会場は新しく本町にオープンした「ホントカ。」



不要なカレンダーがご家庭にありましたら1月10日までに住民センターまでお持ちください。当日、会場への直接持ち込みと交換も大歓迎です。初日11日の午前9時30分~10時頃には右写真の「みんふうざ」の出演も予定されています。また、2日間フードバンクの受付も行っています。

ご不明な点があれば、住民センター石曾根までお問い合わせください。



編集後記

先日、街場での飲み会に真人北山からの乗合タクシーに乗車しました。乗車場所は私の家のすぐ前です。18時28分出発なので、夕方からの飲み会にはちょうど良い時間に利用できます。以前に乗った時もそうでしたが私以外に予約はなく、来るのは普通のタクシー車両。公共交通としての役割から、少し遠回りになりますが、街場までは約10分で到着します。6時30分からの開始にもギリギリ間に合います。しかも一人で乗って途中どこにも停車せず、本町に

ついて支払う料金は230円。普通にタクシーを呼べば約2,000円。いや、冬季料金ならもっと高くつくでしょう。地域公共交通確保のためとはいえ、申し訳ない気持ちになります。奇しくも今月岩沢と真人に新車のコミュニケーションバスが配車されました。ありがたい、地域で有効活用したいですね。さて、今年一年「岩沢通信」ご愛読いただきありがとうございます。来年が皆さんにとって素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。どうぞ良いお年をお迎えください。・・・(一)